

秋田 八幡平 大深沢

2012年8月12(日)～13日(月)

メンバー:L菊地、糸井、柳下、神戸(記)

8/12(日)

八瀬森山荘で下山する塚原さんと別れて、湿原に入るとすぐに関東沢へと下る踏跡があり、少し歩くとすぐに水が出てきた。小さな小滝をどんどん下って行き、1時間ぐらい経って関東沢の出合で休憩をする。



葛根田川源頭の湿原

テン場を確保するのに葛根田川の最後の滝で追い付いて来たパーティよりも早く大深沢の出合に着きたいと皆で話しながら早めのペースでさらに下っていく。ロープを使うような滝もなく、大深沢の出合に到着。

大深沢はイワナがたくさん釣れるとネットの記録にも書いてあり、菊地さんは少し先行して釣りをする事になった。糸井さんも今回は竿を持って来ていないので、三人でゆっくり休憩をしていると、遠くからでも菊地さんがイワナを釣ったのがわかった。でもどうやら1匹目には逃げられてしまったようだ。

本当にすぐ釣れるんだと感心しながら、出

合の辺りには良いテン場がないか探してみるが、広くて泊まれそうな場所はあるけれど、川岸の草が生い茂っていて、あまり快適ではなさそう。1時間位の間菊地さんはイワナを3匹も釣っていて、まだ時間も早いのでもう少し上まで行ってみることにする。合計5匹釣った所で竿をしまい、7mのナメ滝を越えると、幅広の大きな滝が見えてきた。



ナイアガラの滝

幅30m高さ20m位の通称ナイアガラの滝。こんなに幅の広い滝は今まで見た事がない。左のリッジのぐらぐらの木にトラロープが下がっていて、登りやすい岩なのだけど高さがあるのが怖いので、一応ロープをつかみながら登る。一番上の岩を乗り越す所が少し難しいので菊地さんにロープを出してもらおう。この滝の上が広くて、とても綺麗なナメになっていて素晴らしい。ナメ滝が三俣まで続き、短いけれど今回はここが一番見どころだった。

随分ゆっくりと歩いたのに後続のパーティには追いつかれず、テン場を探す。三俣の手前の左の草の中にもテントは張れそうだが、もっといい場所はないかと探していると北ノ又沢のナメ滝の右側に4人用テントが張れるととてもいい場所を見つけた。

倒れた木があり、ノコギリで切ればいく  
らでも薪もある。後続の2パーティも到  
着したようだ。



### ナイアガラの上のナメ

夕飯はマーボー春雨にイワナの刺身と  
オイルソテー、塩焼きに、途中で菊地さん  
が採った明日葉を天ぷらにしてくれて、  
まるでコース料理のようでした。沢でも  
山でも、てんぷらは初めてで感激。揚げ  
たては美味しいです。柳下さんのマーボ  
ー春雨にもチャーシューが入っていて、  
キュウリの酢の物も美味しかったです。  
イワナは塩焼きにすると火に当てる時間  
も長くパサついてしまいますが、フライ  
パンで焼くと身がふわっとして美味しか  
ったです。



快適なテン場

8/13(月)

4時過ぎに起きて朝食は菊地さんの炊き  
込みごはんともみそ汁。6時位に出発する。夜  
は星が見えたけれど、雲も多く今朝も曇っ  
ている。小滝や時おり出てくるナメ滝を越え  
ていくと、川幅は狭くなるが水量はあまり減ら  
ない。1時間も歩くと沢は傾斜を増し、上  
の方まで見える急登になる。今までがゆるやか  
な登りだったので息を切らしながら、ひたす  
ら登っていくと、ようやく傾斜が緩くなり源頭  
の雰囲気になってきた。

水流の脇には秋田フキがあり、大きな物で  
は茎の長さが1.5m、葉幅は1.3mにもな  
るお化けのようなものもあり、原産地が  
北秋田の長木沢とこの大深沢だと言われ  
ているらしい。昔から、大深沢の源流へ  
は、天狗でもなければ入り込めないと信  
じられていたそうで、この沢の原始性を  
いつまでも残して行けたらと思う。



秋田フキ

本流を詰めてしまうと下山の登山道から  
遠くなってしまうので、途中で左の枝沢  
に入る所を探す。それらしき枝沢に入り  
しばらくすると水が枯れて、藪になる。

1時間程の藪漕ぎは記録から覚悟していたけれど、冬の豪雪に鍛えられたネマガリダケは手強い。先頭の菊地さんの後を何とかついて行き、雨も降ってきて1時間では抜けられないのではと思った頃に小屋の屋根が見えてホッとした。

大深山荘のすぐ北の登山道に出て握手をかわし、2003年築の真新しい山荘で休憩。雨が激しくなり、縦走のグループが何組も入ってくる。もう下山したはずの塚原さんに電話をして、松川温泉で待ち合わせの予定。稜線は晴れていたなら爽やかな草原歩きを楽しめそう。今日は雨の中を靴もドロドロになり、滑ってお尻まで泥をつけながら、湯けむりに誘われ登山道入り口に到着。

2日目から雨の予報だったのにもかかわらず、沢の中で雨に降られなかったのは糸井さんのおかげです。車道に出ると塚原さんと柳下車が待っていてくれました。迎えの車があるとは、なんて贅沢な山行。足の痛みのために大深沢には行かずに、滝ノ上温泉から車を回送してくれた塚原さんに大感謝です。おかげで葛根田川～大深沢のルートを下山も2時間程と苦労をせずに楽しむ事ができました。

すぐ近くの峡雲荘の温泉に入って、渋滞もなく帰京。横浜に着いたのは23時過ぎになってしまいました。

2009年の10月に赤谷川に行った後は産休に入ってしまう。ネットで沢の記録を読むだけの生活を悶々としてきましたが、以前から行きたかった葛根田川に久しぶりに参加できて、メンバーの皆さんのお

かげもあり、本当に楽しかったです。ありがとうございました。



黄色みを帯びたイワナ

コースタイム

8/12(日)

八瀬森山荘 11:25～13:20 大深沢出合(休憩) 14:20位～三ッ俣 B.P. 15:10

8/13(月)

三ッ俣 6:00 位～北ノ又沢 11:25 m 6:45～大深山荘 9:55 休憩 10:40～松川温泉 13:00

地形図:秋田駒ヶ岳, 曲崎山, 八幡平, 茶臼岳, 松川温泉